「自己を拓く」進路だより

令和4年9月26日
静岡県立浜北西高等学校　進路指導課

【3年生】

9月も後半になり、本格的に受験に立ち向かう時が来ました。
既に、一般企業への就職を目指す人は、9/16(金)から就職試験が始まっています。公務員を目指す人も9/16(金)以降に1次試験が実施されています。就職希望者の皆さんが全員内定をもらえることを願っています。

大学進学を目指す人は、ここからが勝負です。過去に、この時期のマーク模試で 400 点代前半だった人が、本番の大学入学共通テスト(以下共通テスト)で 650 点くらいとった。つまり 200 点くらい伸ばしたという例がいくらでもあります。苦しい受験勉強から逃げないで、授業に、そして放課後の課外にしっかり取り組んでください。

苦しいことに直面すると、一人では逃げたくなりますが、みんなで協力して立ち向かえば、頑張ることができると思います。受験勉強をみんなで頑張ることで人間的にも成長してほしいと願っています。

▼共通テストの願書の受付が始まります！！ 9/26(月)～10/6(木)

ついに共通テストの願書の受付が始まります。試験本番は来年1月 14 日(土)・15 日(日)です。現役生は各自で出願を行うのではなく、学校一括での出願となります。出願に際して特に注意する点は、「受験教科事前登録制」です。共通テストを受験するにあたり、あらかじめ「受験教科」「地理歴史，公民の受験科目数」「理科の科目選択方法(※)」を出願時に申し出て、登録する必要があります。これらの登録を正しく行わないと、希望する教科・科目を受験することができませんので、希望する大学の受験教科・科目をよく確認した上で出願しなければなりません。特に理科に関しては大学・学部・学科によって受験に必要な科目選択方法が異なります。早めに担任と一緒に確認しておきましょう。

※理科の科目選択方法(次の A～D のうち一つを選択する。)
　理科①:「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」
　理科②:「物理」「化学」「生物」「地学」
A:理科①を2科目受験する。(1科目だけの受験はできません。)
B:理科②を1科目受験する。
C:理科①を2科目、理科②を1科目受験する。
D:理科②を2科目受験する。

【現役生は，これから成績が伸びる】

既に教科書を終えている既卒生に対して、現役生はまだ授業では教科書が終わっていない科目もありますし、学力養成には基本が身についた後で、十分な問題演習が必要です。現役生がこれから伸びるのは当然なのです。特に理科・社会では、その内容を学んでいなければ、得点・偏差値とも大きく下がります。ですから、模試があまりできなかったからといって、落ち込む必要はありません。記憶が薄れないうちに、模範解答を見ながら、習った部分がどれくらいできているかをチェックしてください。だいたいできていれば、判定が少しくらい悪くても期待が持てます。

また、不明な点や誤答部分については、なぜできなかったのかを分析してその対策をしていきましょう。模試は見直してこそ意味があるのです。ただ受験して成績が良かったとか悪かっただけで終わってしまっては高いお金を払い、貴重な時間を割いただけになってしまいます。必ず復習しましょう。

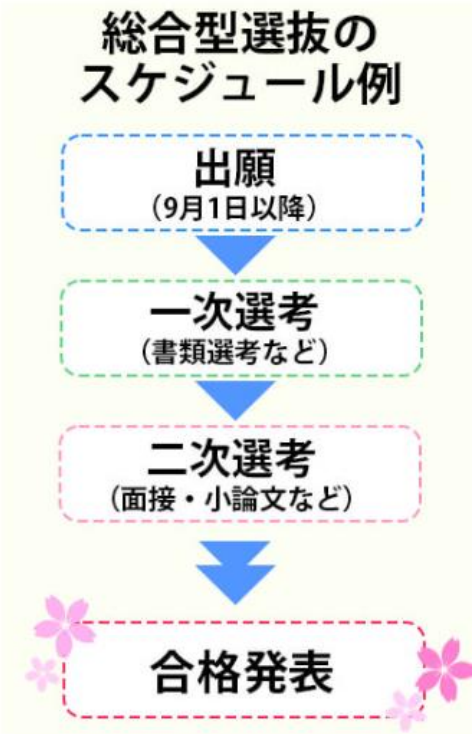
【1・2年生】

3年生になったときに困らないように総合型選抜（旧 AO 入試）を知ろう。

総合型選抜（旧 AO 入試）の課題や面接は、その場で対応するのは難しく、事前の情報収集や自己分析などの対策が必要になります。ではいつから対策していけばいいのか。いつから始めれば安心という保証はありません。例えば、出願要項として評定平均や特定の科目の履修が求められているなら、高校入学時から出願を念頭に置いて準備する必要があるでしょう。書類等の準備をするなら、対策を始める目安は出願の半年ほど前から。時期でいうと、高校2年 2～3 月くらいが目安になると思います。志望理由書やエントリーシートは、「目標を定め、努力し、達成した」というエピソードが書けると合格に近づきます。資格取得や部活動の大会、学校のプロジェクトなどに取り組み、志望理由書の内容を充実させるためには、早め早めの行動が必要となります。

大学の情報を収集し、志望理由を明確にしておくために必要なことは、各大学の特徴を把握することです。大学や学部によって異なる「求める人物像」に対して、自分がいかに合致しているかをアピールする志望理由が必須となるため、いかに受験する大学の情報を収集できるかがポイントとなります。大学の情報収集のために必要なのがオープンキャンパスです。実際に大学で勉強をしている大学生たちを目にすることで、大学の特徴や雰囲気、勉強する教室の環境などを自分の目を通して情報を集めることができます。

志望理由は、オープンキャンパスによる実体験を通して感じたものを面接で織り込むことで面接官の心に響く面接となります。コミュニケーション能力やハキハキと話すことができるということも重要ですが、何より大学のポリシーを把握しているのか、学部・学科による違いを理解し、自分の将来ビジョンを描けているのか？などがとても重要となります。

面接対策では、「志望理由」と「自己紹介」が主なテーマとなります。志望校の掲げる教育目標やどのようなことが学べるのかを把握しておくと、面接する人の目にはより意欲の高い人材に映ります。つまり、面接対策はうまく受け答えをすることが重要なのではなく、「何を目的に学ぶのか？」「入学してから何をしたいのか？」など目標を明確にすることで、どんな質問が来ても素直に答えられるようにしておくことが重要です。

総合型入試での課題は小論文となります。小論文では、自分がどう感じたかではなく1つの事象に対して深く掘り下げて内容を展開し論じることが目的となります。作文などと違い、自分の気持ちを書くものではないことを把握して準備を進めていくことが大事です。